

あおり教育フェスタの  
発表内容の一部について、  
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

## Vol.3 イチから始める評価(実践編) プロジェクト

### 目標

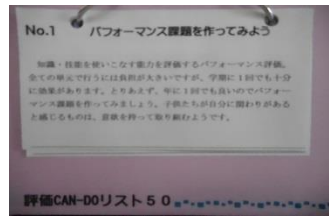
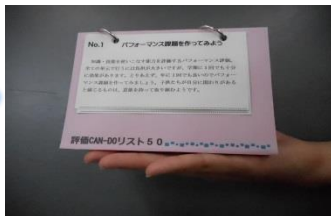
学校現場で実践してもらうために、様々な評価に関するアイディア集を作成し、多くの先生方に提供する。

### なぜ評価が大切？

子供たちを様々な角度から多面的に捉えることはとても重要です。評価することの意義・方法を多くの先生方に知ってもらい、学校現場で実践してもらえれば、先生方の授業改善・子供たちの学習意欲向上につながると考えています。

そんな思いから、こんなものを作ってみました！

コンパクトな手のひらサイズ！



このアイディア集↑を、わたしたちのプロジェクトでは

**評価CAN-DOリスト 50**

と命名しました。

パフォーマンス評価や、特別支援教育等、様々な視点から『評価ってこんな感じです』というコンセプトでまとめたものです。

- <メンバー>
- ◎オブザーバー  
久保田千夏 (高校教育課長)
  - ★リーダー  
木田里仁 (高校教育課)
  - ☆メンバー  
伴 貴代 (義務教育課)  
須藤 崇 (義務教育課)  
氣田章正 (高校教育課)  
村上幸雄 (高校教育課)  
工藤陽平 (高校教育課)  
寺沢太一 (産業教育課)  
橋本美樹子 (特別支援教育課)



評価って研究すると難しいですね！

### 研究の様子



そんなことないよ。普段の子供たちをそのまま評価できる授業に変えていけば良いんだよ。授業改善の視点は必要な！

メンバーはこの8人です！

ご来場いただいた方限定  
で、このリストを先着  
30名様にプレゼント！

## Vol.4 校内研修活性化支援 プロジェクト

私たちは、校内研修の活性化に関わる課題や現場で活用できるツールなど  
について研究しています！



【発表・体験】

授業の動画を使って、授業研究会を体験しよう

日時:11月25日(土)13:30~14:10 会場:2階 第2研修室

校内研修活性化支援プロジェクトは、これまで『アイデアブック』『ツールブック』を制作してきました。平成29年度は、小・中・高・特別支援の各校種で校内研修における現状を分析し、学校の実情を踏まえた『アイデアブック』『ツールブック』の改訂に取り組んでいます。今回はその中から、一番身近な「授業」に関わるものを取り上げ、授業動画を参観した後、参加者の皆さんと模擬授業研究会を行います。

◎中村 紹子(特別支援教育課長)

★加藤 日寿(義務教育課)

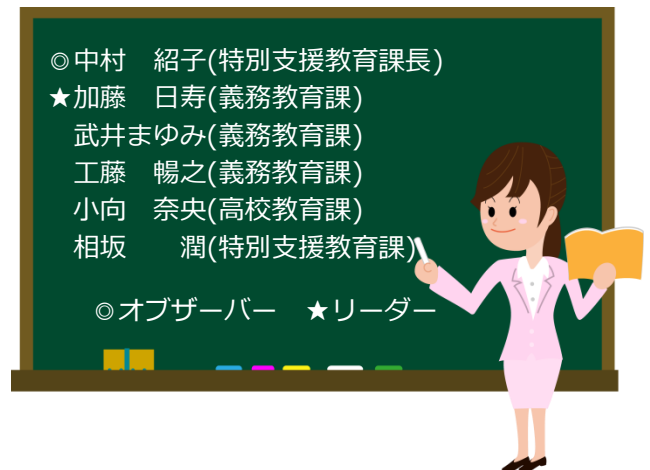
武井まゆみ(義務教育課)

工藤 暢之(義務教育課)

小向 奈央(高校教育課)

相坂 潤(特別支援教育課)

◎オブザーバー ★リーダー



### 校内研修活性化のための アイデアブック



青森県総合学校教育センター  
平成29年3月

【特徴：研修主任が抱える悩みに応じて、対策を提案しています】

- 1 研修時間がなかなかとれませんっ！
- 2 研究テーマがうまく設定できませんっ！
- 3 研究の進め方がよくわかりませんっ！
- 4 研修に積極的に参加してくれませんっ！
- 5 他のグループ（学年、教科等）の動きが見えませんっ！
- 6 協議をしても活性化しませんっ！
- 7 研修成果がなかなか活用されませんっ！

### 校内研修活性化のための ツールブック



青森県総合学校教育センター  
平成29年3月

【特徴：研修の目的に応じて、有効なツールを紹介しています】

- 1 学校課題を整理する
  - ①カリキュラムマネジメント分析シート
  - ②クロスSWOT分析
- 2 取り組む課題を明確化する
  - ③パイオフマトリックス
  - ④KPT
- 3 授業を改善する
  - ⑤拡大指導案
  - ⑥授業参観シート
  - ⑦概念化シート

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ2017でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2017

平成29年11月24日(金)・25日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994

Center Information  
Aomori Prefectural School Education Center.